



独立行政法人国立病院機構

松江医療センター
呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL(0852)21-6131 FAX(0852)27-1019
 URL <http://www.matsue-medicalcenter.jp/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 亀崎 卓夫



玉湯川の桜並木

玉造温泉街から玉湯川に沿って約2kmにわたり桜並木が続きます。毎年「花吹雪温泉まつり」が行われ、夜間は幻想的にライトアップされます。

もくじ

医療教育研修室から 一飛躍の3年目へ！	2～3	1階・2階・3階病棟「成人・還暦式」を開催しました	7
院内感染対策研修会に参加して	3	「節分会」開催	7
院内講演会のご報告	4	地域医療連携室だより 第4号	8～9
第35回山陰感染症化学療法研究会学術講演会優秀賞を受賞して	5	平成22年度医療安全取り組み発表会	10
第43回中国四国医学検査学会に参加して	5	ソフトバレーボール大会開催!!	11
2・3階重症心身障害児・者病棟「ひなまつり会」	6	しじみ会(平成二十三年新春号 二月立春号 三月雛祭り号)	11
栄養管理室から	6	外来診療表	12

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。

医療教育研修室から

— 飛躍の3年目へ! —

呼吸器科医長・医療教育研修室長

門 脇 徹

早いもので医療教育研修室も発足して2年が経ちました。昨年度（平成22年度）には、呼吸器疾患勉強会を軸として講義範囲を拡大致しました。さらに昨年11月には『院内発表会』を開催し、12月には『松江呼吸器セミナー』と銘打って、外部への発信を開始いたしました。今回の記事では、昨年度の報告と今年度の方針を提示したいと思います。

まずは昨年度マニフェストの達成状況の検証です。昨年度マニフェストは↓

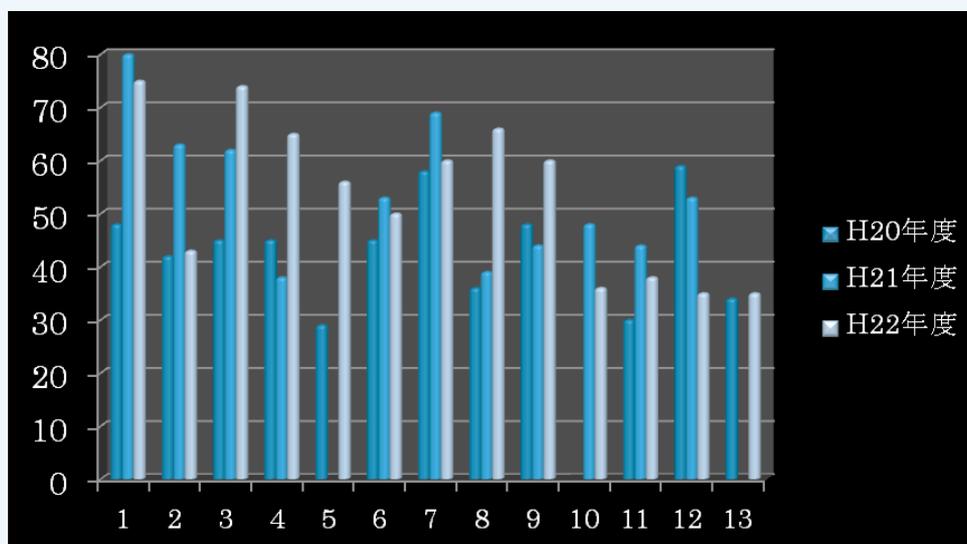
- ① 呼吸器疾患勉強会に加えて、神経難病・重症心身障害の勉強会を行います。
- ② 看護部との連携により効率の良い勉強会・研修を提供します。
- ③ 『院内発表会』にて情報交換・研究発表の場を提供します。
院外にも情報発信を開始します。

としておりました。概ね達成したと考えておりますが、②については不十分でした。やはり、時間外のものも含めると当院では研修・講義が多く、内容的に重複するものも存在します。さらなる効率化が必要ですが、この問題を解決するには当院の教育システムそのものを考え直す必要性を痛感しております。様々な部門を抱える組織としての共通した教育方針が必要ですし、それぞれの部門の専門性を伸ばす教育も必要です。そして、構成メンバーが変わっても機能する教育システムの確立も必要と考えています。

さて、昨年度に当研修室が開催した勉強会・研修をまとめると・・・

- ・呼吸器疾患勉強会 : 13回
- ・肺癌化学療法勉強会 : 2回
- ・重心勉強会 : 3回
- ・神経難病勉強会 : 2回
- ・その他 : 2回
- ・企画書による研修 : 4回

の計26回でした。呼吸器疾患勉強会では、平成22年度の参加人数の中央値は56人（平成20年度：45人、平成21年度：53人）と少しずつですが、増加傾向です（図）。講義・研修内容は異なるものの、参加人数の増加はスタッフの学習意欲向上、そして教育効果の一つの指標として手応えを感じております。



昨年12月に開催した『第1回松江呼吸器セミナー』では、院外から209名の参加がありました。予想を大幅に上回る参加に驚きましたが、これは当院に対する周辺の医療機関の期待の大きさととらえております。今年度のテーマは近々発表予定ですが、第2回の松江呼吸器セミナーでも院内の勉強会を通じてスタッフの皆さんと培ったことを院外に発信していきたい！と考えております。

医療教育研修室は今年度（平成23年度）も呼吸器疾患勉強会を軸として、質の高い講義・研修を提供していきます。前号の本誌にて予告した通り、講義形式から参加型の講義形式にシフトしていきます。そして昨年度から引き続いて『院内発表会』により院内の活性化、そして『松江呼吸器セミナー』を通じて院外への情報発信をしていきます。そして発足当初に5カ年計画を策定してありましたが、そこにも謳っている通り、当院の知識・技術・智恵を結集して、教科書を作ってみたいと考えております。これは私自身、当院としても初の試みですが、やってやれないことはない！と信じております。さらに、今年度の新たな試みとして、『呼吸療法認定士』の資格取得を目指す職員を対象に『呼吸療法認定士養成講座』と銘打った勉強会（計6回）を行っていきます。

ということで今年度の医療教育研修室マニフェストは↓

- ① 知識提供型の講義から参加型研修への転換を図ります。
- ② 当院スタッフの知識・技術を結集して教科書の作成を開始します。
- ③ 院内発表会・松江呼吸器セミナーはさらに内容を充実して開催します。

講義内容の詳細については昨年同様当院HPの医療教育研修室のコーナーにupしております。

<http://www.matsue-medicalcenter.jp/about/section/kyoiku/>をご参照ください。

もちろん、3年目の医療教育研修室のコンセプトはそのままに。

『スタッフ教育に関してコーディネーターであり、かつ知識・技術向上のためのプロデューサーであること。』医療教育研修室は今年度も職員の皆様の知識・技術向上のお手伝いをしていきます。皆さん共に学んでいきましょう！

院内感染対策研修会に参加して

4階病棟 看護師 川上 由美子

今回、1月19日から3日間研修に参加させていただきました。今回の研修では、全国から医師・認定看護師・看護師が72名参加していました。感染管理の講義の内容も幅ひろく、興味をひくものでした。私は今回の研修に参加させていただくまで、院内感染対策については院内研修のみで、感染管理に対する知識はそれほどありませんでした。今回の研修では難しい内容もありましたが、今後に生かせるような内容だったと思います。

印象に残った講義の中で、身近である環境整備についての内容がありました。講義された講師の先生の病院では、環境整備を毎日2回看護師がおこなっているそうです。私たちが毎日さわるカルテやパソコン、取手やカーテンが最も汚染されており、それが医療者を介して細菌をひろげる原因になるリスクがあるという

ことです。他病院の方との情報交換でも、1日2回の環境整備は行っている病院は多いとのことでした。当院では、環境整備は週1回であるという現状、また環境整備を助手さんがおこなっているということから、環境整備に対する意識がうすいように感じました。

講義や、他病院の院内感染対策の現状をきいて、当院で気になった点として、環境整備の重要性がそれほど認識されていないということ、点滴刺入時の手袋着用はほぼ徹底されているが、抜針時の手袋着用が徹底されていないということがありました。医療者が感染の原因であってはならない、医療者自身の身をまもるためにも、正しい感染対策の知識をスタッフ全員で認識していくことの重要性を学びました。

今回の学びを振り返り、伝達し、院内感染対策に活かしていきたいと思っております。

院内講演会のご報告

研究検査科 臨床検査技師長 福谷 俊二

する役割を果たすことが明らかになってきました。今後さらに研究が進み、何らかの形で臨床応用が可能になると予想されます。ぜひ興味をもっていただければと思います。

ちなみにプレゼン資料のイラストは全て高木先生のオリジナル作画です。資料として配布されていました『絵で見る免疫学 宿主と病原体の攻防』と題する著作を昨年出版されました。発刊当初は非売品でしたが、



去る2月25日、医療教育研修室のご協力をいただき、講演会を開催しました。ご聴講いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。4年半前に講師としてお招きしました高木淳先生(株)アポットジャパン学術顧問に、再度松江でのご講演をしていただきました。

前回は『食べる免疫』と題して、病原体に対する免疫機能の仕組みと働きについて、ジャガイモを使ってのワクチン接種(摂取)の最新研究も交えてのお話でした。その後、続編の講演のご要望があり準備をしていましたが、異動となったためお約束が宙に浮いたままとなっていました。出向先の岩国MCから3年ぶりに松江MCに戻り、矢野副院長のご支援をいただき、このたびお約束を果たすことができました。



「ぜひ発売を」との声が多く、このたびA4版カラー全36ページで2800円での発売になりました。ご興味がある方は検査科に申し込み案内をおいてあります。

第3回目のご要望もお聞きしていますので、一年後くらいにあらためてご講演の依頼をしてみる予定ですので楽しみに。



第2回は『病原体と宿主の終わりなき戦い』と題し、細菌やウイルスといった病原体に対する人体の防御機構、さらにはその防御機構をすり抜けるための病原体の生き残りのメカニズムについて、基礎分野を含めながら、わかりやすく解説をしていただきました。卒後年数の少ない医療職の方にとっては、まだ記憶に新しい内容もあったのではと思います。最後のほうでTLR(Toll-like-receptor)という聞きなれない受容体タンパクについてもお話に出ました。最近、このTLRが病原体に存在する特異物質を識別し、免疫機序を発現



第35回山陰感染症化学療法研究会学術講演会優秀賞を受賞して

呼吸器科 小林 賀奈子



今年で第35回を迎える山陰感染症化学療法研究会学術講演会が毎年11月頃に米子市で開催されている。発表演題は診療科を越えて、基礎から臨床まで多方面から集まってくる。

3年前から10人前後の世話人の先生方の採点によるポイント制によ

って優秀演題が2～3題選考されるようになった。

第3回目となる今年は、優秀演題3題のうち私が「飲料水自動販売機から検出されたM.gordonae」で受賞者の1人となった。実は、栄えある選考初年度の一昨年も「当院における非結核性抗酸菌症手術例の検討」で私は受賞しており、3回のうち2度の受賞を受けたのは大変光栄なことである。感染症全般にわたる多数の演題の中から私が2度も選考されたのは当院の症例が非常に豊富である事と発表演題の発想がユニークであった点によるものと思う。

さて年末恒例のこの学術講演会に皆さんも是非参加して頂き、次回の優秀演題を今から狙ってみるのも研究の励みになるのではないのでしょうか。

第43回中国四国医学検査学会に参加して

臨床検査科 検査技師 末 廣 伸 子



昨年11月に島根県松江市で開催された第43回中国四国医学検査学会において「カップ式自動販売機からのMycobacterium gordonae検出事例」について口演発表させていただき、島根県臨床検査学会より最優秀発表者賞をいただきました。私たち臨床検査技師は日々提出される検体を検査し、結果を患者さんへお返ししております。今

回の研究は、私たちが結果の正確さ以前に、検体が適切に採取されたものであるのか？という基本的なことについて再度考えるよい機会になりました。更に、職種の壁を超えた連携や検査技師としての業務の重要性について再認識でき、本研究は技師経験のわずかな私にとって学び多きものになりました。

また、この研究は松江医療センターの皆様のお力添えなしには成しえる事は出来ませんでした。ご協力くださった全ての方々に心から感謝いたします。今後も患者さんにより良い医療の実現という観点のもと、日々生じる「なぜ？」を丁寧に解決し、検査精度の向上に努めていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

2・3階 重症心身障害児・者病棟「ひなまつり会」

療育指導室 保育士 高橋 朋子



3月3日、外は時おり雪の舞い散る寒い日になりましたが、2・3階病棟は一足先に春が来たかのように賑やかな雰囲気の中「ひなまつり会」を開催しました。

3階病棟は午後2時15分から、2階病棟は午後2時30分からと時間差をつけての開始です。

3階病棟は職員（看護師・療養介助員・児童指導員・保育士）による出し物、あのKポップグループ「KARRA」の踊りから始まり、家族会の有志の皆さんによる「桜音頭」、若柳流の先生による日本舞踊を観させていただきました。

2階病棟は家族会の有志の皆さんによる「桜音頭」から始まり、病棟の緑が丘養護学校生と先生による発表「夢の道をつくろう」と題した歌と楽器演奏、パワーポイントでの一人ひとりの思い出と夢の紹介があり、

最後に島根大学の邦楽部のみなさんによる演奏がありました。

どちらの病棟の患者さんも家族や職員と共に、普段感じる事の無い賑やかな雰囲気の中、踊りや音楽を、見たり・聴いたり・音の振動を感じるにより楽しむことができたのではないかと思います。

今回の「ひなまつり会」は、病棟によって内容は少し違いましたが、子どもたちを踊りや音楽で楽しめたいという家族会の皆さんの熱い思い、快く出演を受けてくださったボランティアの皆さん、患者さんたちが安全に安心して参加できるよう配慮してくださった関係スタッフの皆さん、たくさんの方々のご協力により今年度最後の行事「ひなまつり会」を実施することができました。本当にありがとうございました。



栄養管理室から

「去年今年」(こぞことし)

栄養管理室 栄養士 大河内 友美

あわただしく年が去り新しい年がやってきました。新年早々大雪であわただしい年明けとなった栄養管理室厨房でしたが、去年と変わりなく今年も無事におせち料理が提供できましたことに感謝しています。

昨年に引き続き原油高騰、穀類収穫量低下などの影響により食料の価格高騰の波が押し寄せています。給食部門にとっても様々な影響が考えられます。しかし、今までと変わりなく松江医療センターの味を繋いでいくことができるように、新しい取り組みにもチャレンジしていきたいと思っています。



1階・2階・3階病棟「成人・還暦式」を開催しました

療育指導室 主任保育士 谷口和子

れました。次に、筋ジストロフィー病棟家族会の嶽会長、重症心身障害児（者）病棟家族会細田会長、齋田小児科医長の祝辞がありました。記念品贈呈は、徳島院長から写真立てが全員に手渡されました。最後に、成人・還暦患者代表で伊藤慶祐さんがしっかりとした答辞を述べられました。30分足らずの短い行事でしたが、厳粛な雰囲気の中にもやわらかで暖かい雰囲気が漂っていました。



平成23年1月13日（木）14時30分から、2階病棟のデイルームにおいて「成人・還暦式」を実施しました。1階病棟からは還暦の2名、2階病棟は成人の4名、3階病棟は成人の1名、合計7名の方がそれぞれの思いを胸に参加されたことではないかと思えます。また、ご家族、職員、患者さんの代表が1階から3階より参加され賑やかに行われました。まず始めに、徳島院長の式辞では、皆さん一人ひとりに病棟での生活の様子や療育の活動や今から20年前にあった出来事が紹介さ



「節分会」開催

保育士 湯浅恵子

2月3日（木）14：20～15：00 3階病棟のデイルームで「節分会」を行いました。うさぎ年の年男・年女の6名の方それぞれのお母さん、担当の職員から本人の紹介と今年の抱負を言って頂きました。と、そこへ鬼登場！自分の中の悪い鬼をめがけて豆…ならぬ"玉"を投げました。鬼が降参した後、患者さんが2チー

ムに分かれて鬼さんがリーダーになり「赤鬼青鬼対抗クイズ大会」をしました。勝敗は青鬼チームが優勝しました。最後に鬼さん、うさぎさんから「鬼のパンツ」「うさぎのパンティ」の踊りのプレゼントがあり、会場は盛り上がりました。今年もみんな元気で過ごせますように！





地域医療連携室だより 第4号

2011年4月

今年度も患者さんに安心・安全な医療が継続して提供できますよう、スタッフ一丸となり地域と病院の連携に努めてまいります。宜しくお願いいたします。



1. 第1回呼吸器セミナーを開催しました

昨年12月4日に、当院医療教育研修会主催「第1回呼吸器セミナー」を開催しました。参加頂いた方のご意見を紹介いたします。

～在宅を支えるために～

様々な疾患・病状から生じる不安を抱えながら在宅で生活をしていかなければならないご本人や家族。

住み慣れた家（地域）で暮らしたいという思いを支え、安心して毎日をご過ごしていただく為に私たちケアマネージャーも日々進歩する医療知識を学ばなければならない。ケアマネージャーは基礎資格も色々と全員が十分な知識を備えているわけではなく、在宅を支える為にも各専門職の助けが必要で多職種との連携は欠かせないと考えている。特に呼吸器疾患をお持ちの利用者・家族は少しの変化も不安材料となり、気の休まる時間がない。医療職から「こんな事で騒がなくても」「如何してももう少し早く連絡しなかったか」等等…、言われる言葉の一つ一つが身に沁みる家族と介護の現場。

今回の研修のように分かりやすく丁寧な講義を受けることで疾患の理解と対応を学び、怖がらないで安心して支援できるように、多職種連携の関係構築をすすめていきたいと思っております。

たとえ少しの間であっても、安心して一日一日を大切に過ごしてほしいという思いは在宅支援に関わるすべての人たちの共通の言語だと考えています。 【在宅療養支援センター あんしん 小原 央子様より】

今後も地域の皆様のニーズに応えるような研修会開催に取り組みます。ご意見・ご希望等ありましたら、地域医療連携室（0852）24-7671 へお寄せ下さい。お待ちしております。

2. 第2回落語会を開催しました。

第1回は真夏の暑い中汗だくで、第2回は寒い中にも「笑う門に福来たる」と年の初めにふさわしく1月21日に「春雨や落雷」氏のご厚意で開催致すことができました。70名近い参加者がありました。

第2回落語会も皆様楽しみにしていらっしゃったと思います。

個人的にですが、相撲好きの私にとりまして最初の演目は「そのとおり、なるほどと自然と笑える時を過ごさせていただきました。「時そば」では、重症心身障害者、筋ジストロフィーの患者さんもお蕎麦をすするシーンでは、笑いが止まらず、その笑いに私も癒される思いがいたしました。

口演後には「春雨や落雷」氏が高座から降りてこられ、患者さんに感想を尋ねたり、握手をしたりと交流を図られました。

寒さを吹き飛ばす、温かな時間が流れた1時間でした。

看護部長 三宅弘恵



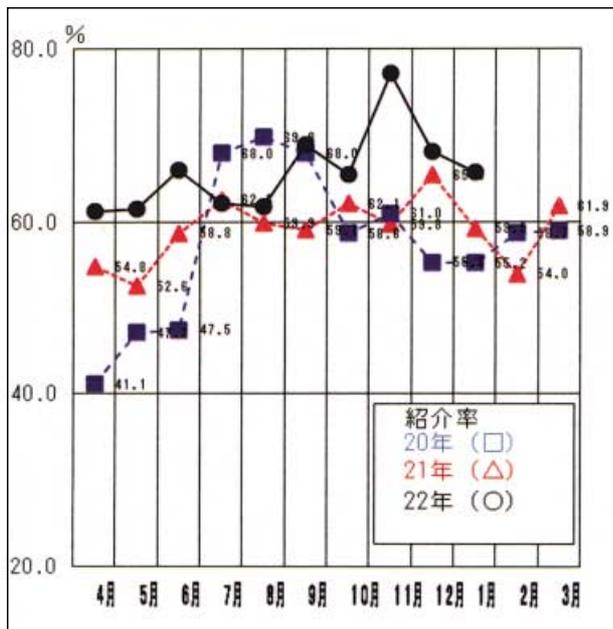
今後、落語会を年3回定期口演することになりました。
（5月・9月・1月に開催予定です。）お楽しみに……。

3. 今年度、当院主催の研修会・交流会のご案内

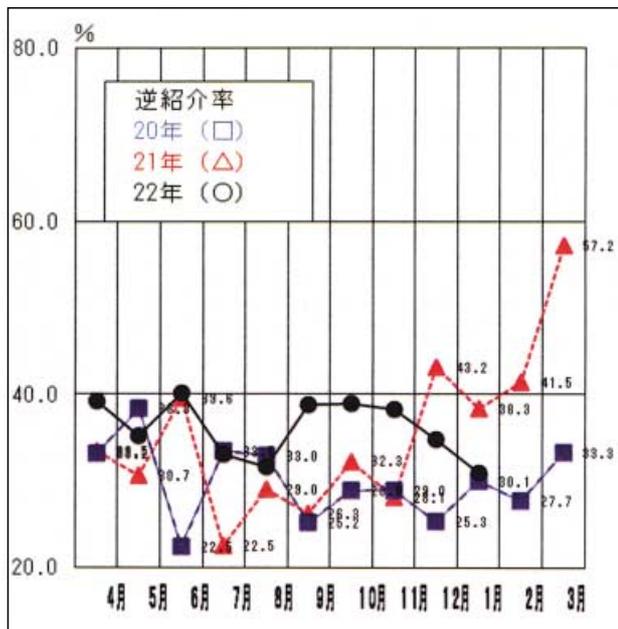
- 7月 9日(土) 第6回肺がんフォーラム
- 9月17日(土) 島根医療マネジメント学会 テーマ「高めよう 地域医療連携と役割分担」
- 10月15日(土) 健康フェスタ
- 10月20日(木) 第5回地域医療連携交流会
- 12月 3日(土) 第2回呼吸器セミナー

4. 紹介率・逆紹介率の推移

紹介率



逆紹介率



5. 退院支援データ

毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
退院支援患者	32人	33人	39人	37人	32人	27人	32人	42人	34人	50人
退院先										
在宅	7人	9人	5人	8人	6人	6人	5人	6人	3人	6人
施設	0	2人	2人	2人	0	3人	0	2人	1人	2人
病院	3人	3人	5人	2人	2人	3人	5人	3人	2人	3人

平成22年度医療安全取り組み発表会

医療安全管理係長 石川 和 枝

一年はあっという間に過ぎてしまい、平成22年度も残すところ後わずかとなる2月22日の夕方医療安全の取り組み発表会を開催しました。今年度は医療安全推進担当者のメンバー全員で会の企画と運営に携わり、口述発表を6部署とポスター発表を12部署で総計18部署の取り組みを紹介することができました。当日参加できない職員も多くいるため、2階の中央廊下に1ヶ月の間18点すべてポスター掲示して見てもらいました。それぞれの部署で工夫した取り組みを他部署にも公開したことで「是非うちも参考にやってみたい」という意見が聞かれました。

医療安全は病院の理念であります"私たちは 真心と思いやりをもって 良質な医療を提供します"を推進するために大切なことでもあります。そのためにも職員の取り組みの積み重ねが重要だと思います。そして私たち医療安全管理室は、取り組みを発表する機会を継続的に設けていくことで病院の医療安全を推進する一歩になるのではないのでしょうか。発表にとどまらず、取り組みを継続できるようにしていきたいと考えています。

なお発表会当日のDVDも作成しておりますし、冊子にもしていますのでご覧になりたい方は医療安全管理室にお越し下さい。

口述発表

1. 10病棟 「0レベルのヒヤリハットを増やすために気づきメモを活用して」

2. 医療安全推進担当者3G「クリニカル5Sグループ」
3. 外来 「外来での医療安全のための取り組み」
4. 検査科「正しい検査結果のための採血について」
5. ME室「ME機器の安全管理」
6. 手術・中材室「麻酔手順の見直しと再確認」

ポスター発表

1. 医療安全推進担当者1G「長期人工呼吸器患者が使用する人工呼吸器取り扱い手順の作成」
2. 医療安全推進担当者2G「医療安全管理室ニュースの作成」
3. 療育指導室「病棟外での療育活動における安全対策について」
4. 放射線科「IDカードでスキャン&ゴー」
5. 栄養管理室「加熱調理食品を冷却する時の温度管理について」
6. 薬剤科「がん化学療法における登録レジメンによる処方監査」
7. リハビリテーション科「酸素ボンベキャリアを導入して」
8. 1階病棟「ヒヤリハット報告書が1週間以内に周知できる」
9. 2階病棟「チーム別ヒヤリハット分析」
10. 3階病棟「平成22年度ヒヤリハット報告」
11. 4階病棟「内服薬に関する取り組み」
12. 5階病棟「点滴注射受領時の手順作成」





ソフトバレーボール大会開催 !!

石川 和 枝



去る3月22日夕方、勤務終了後当院の体育館で有志によるソフトバレーボール大会を開催しました。以前はバレーボール部もあり、にぎやかに活動を行っていたようですが、なかなか勤務後に集まってスポーツをする機会がなくやりたいという声がありこの度ようやく実施できました。

バレーボールと違い柔らかいボールで、初心者の方も楽しく参加できるところがよかったです。ネットを張り、本格的にチームに分かれてゲームに望

みました。昔とった杵柄？年齢に関係なくハッスルされている姿がありました。普段職場では見られない笑顔や笑い声が体育館いっぱいにこだましていました。3月はまだ寒い時期であったために参加されなかった職員もいるので、ぜひ次回は季節も考慮してもっとたくさんの方が出やすい時期を選びたいと考えています。そして、部署対抗のゲームができればさらに活性化につながるのではないのでしょうか。

年齢や部署を問わず誰でもできるソフトバレーボール。次回開催を期待してお待ちください。



しじみ会 (平成二十三年新春号 二月立春号 三月雛祭り号)

リハビリテーション科 作業療法士 三井 貴史

・北風に 負けじ凜とす 水仙よ
となりの住人

・梅咲きて 匂いほのかに 人さそう
京の静さん

・紅白の 梅の小枝に 絵馬ふたつ
やどかりさん

・気合い入れ 廊下小走り 寒い朝
白イルカさん

・病室で 雪解けを待つ 日は長い
永島さん

・納得の いかぬ病に 向き合えば 六十七の 涙止まらず
コスモスさん

・今年初 感動の涙 ありがとう
[K] さん

・病室の 蛇口にポタリ 春の音
美恵さん

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成23年4月1日～

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	矢野	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林 眞奈子 木村 雅広 門脇 徹 若林 規良 石川 成範	【副院長】呼吸器一般（肺循環・肺がん・結核他） 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般・アレルギー 呼吸器一般
	若林	若林			木村		
循環器内科	石川		石川			【循環器内科】 石川 成範	循環器内科一般
消化器内科	三原				石原		
神経内科		下山			足立芳樹	【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二	【臨床研究部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	徳島		目次		荒木		
小児科	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香	重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	齋田	久保田 (予約)	久保田	齋田	久保田		
発達 専門外来						【麻酔科】 足立 洋心	麻酔科・呼吸器外科・一般外科
予防接種							
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 足立 洋心	【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術（肺癌・自然気胸他） 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
睡眠時無呼吸 外来				呼吸器内科 担当医(予約)			
息切れ 外来		呼吸器内科 担当医(予約)				【小児科】 齋田 泰子 久保田智香	重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
喘息 アレルギー外来	若林 (予約)				池田 (予約)		
咳嗽 外来	若林 (予約)					【麻酔科】 足立 洋心	麻酔科・呼吸器外科・一般外科
禁煙 外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)			
アスベスト 外来		小林 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)		診療時間 8:30～17:15 受付時間 8:30～11:30 自動再来受付 7:30～11:00  独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661	
嚔下障害 外来		下山 (予約)					
神経難病 外来		下山		足立芳樹			
筋ジストロフィー 専門外来				下山 (予約)			
セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：こたばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(+喀痰検査で6,300円)
睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
喘息 アレルギー外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
慢性咳嗽外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 8:30～ 嚔下障害外来 (要予約)
神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 8:30～ 神経難病外来
筋ジストロフィー 専門外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色：筋ジストロフィーが診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。
セカンド オピニオン 外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。